

## ICT活用による業務の効率化

中核校 岩見沢市立東光中学校 指定校 岩見沢市立岩見沢小学校、岩見沢市立東小学校

### 実践前の状況

- ・令和4年度の学校評価で「業務改善による省力化などの必要な環境を整備し『働き方改革』を推進している」と肯定的に回答した教職員が36.4%にとどまっており、働き方改革が自分事になっていなかった。
- ・日常的な業務に追われ、生徒に向き合う時間が確保できない。また、市で一斉導入した校務支援システムの活用が進まず、ICT活用による業務の効率化が図られていなかった。

### 実践の概要

#### 組織体制の構築

- ・各部の代表が参集する既存の特別委員会から教頭を除き、加配事務職員を加えた働き方改革のコア・チームを組織した。事務職員が参加することで、予算面においてスピード感のある対応が可能となった。

#### 業務の効率化に向けた取組の充実

- ・指定校の東小学校が導入していた欠席連絡システムを、10月から中核校に導入したことにより、出勤後に時間の余裕が生まれ、教員が定時に教室に向かうことができるようになった。また、生み出された時間で交流を通じた生徒理解が進み、より生徒に寄り添った指導や家庭との連携を充実することができた。さらに、欠席連絡システムには、直接保護者に対してデータで文書を送信できる機能があるため、短学活における文書を配付する時間の短縮、印刷物の減少、コスト削減につながった。
- ・校務支援システムの掲示板を積極的に活用したことにより、朝の打合せの時間を大幅に短縮することができた。
- ・次年度以降は、日課の変更を行い、生徒の学校生活にゆとりを生み出していく。また、校務支援システムの掲示板とGoogleドライブを併用することにより、教職員間での各種文書のペーパーレス化を図り、印刷コストを削減し、高機能高速カラー印刷機を導入し、さらなる業務効率化を図る。



【欠席連絡の画面】

#### (6) 今日的な教育課題への対応

教職員の勤務の割り振りや振替等に加え、業務改善による省力化などの必要な環境を整備し「働き方改革」を推進します。

「校務の情報化」を進め、ICT環境を効果的に活用し、徹底的な校務効率化を目指します。

### 実践の充実に向けた取組の工夫

#### 〔校長の取組〕

- ・働き方改革のコアチームが主体的に動けるようするために、コアチームの委員長には一定程度の裁量権を与えた。
- ・次年度の学校経営の重点に働き方改革を明確に位置付け、年度末反省、新年度計画に業務改善を徹底するようにする。また、業務改善にはOODAループのサイクルを取り入れ、年度途中であっても即時的に変更し、短いスパンで検証する。

#### 〔事務職員の取組〕

- ・加配事務職員が働き方改革のコアチームに入ることにより、予算面で管理職と協議したり、全体周知までをスピーディに行ったりすることができるようにした。

#### 【令和6年度学校経営の重点への改善】

### 成果（ ）と今後の課題（ ）

働き方改革のコアチームを立ち上げ、主体的に業務を推進する仕組みをつくったことにより、業務改善の成功体験を得ることができた。

校務のICT化を進めたことにより、生徒に寄り添う時間的な余裕が確保できた。

学校評価で「業務改善による省力化などの必要な環境を整備し『働き方改革』を推進している」と肯定的な回答した教職員が、令和4年度より増加した。(R4年11月：36.4% R5年11月：58.3%)

校務のICT化を進めることに抵抗感をもつ教員に対し、効果の実感をもたせる必要がある。